

「資料5 習志野市新庁舎建設工事契約書(案)」に関する質疑回答

No	ページ	該当箇所			タイトル	質疑	回答
		条	項	号			
1	7	20	4		破壊検査等	「検査及び復旧に直接要する費用は受注者の負担とする」とありますが、「適合していた場合の費用負担及び、復旧に掛る工期に関しては、発注者及び、受注者による協議とする」と読み替えても宜しいでしょうか。	第20条第2項第3項に基づいて行われる破壊検査及び復旧に直接要する費用は、契約書(案)にある通り、受注者の負担とします。
2	8	22			要求水準等の変更	発注者と受注者との協議等において、要求水準書に記載のない事項や要求水準書と異なる事項が発注者から示された場合、22条にある「発注者は、必要があると認めるときは、要求水準書等の変更内容を受注者に通知した」にあたるかと考えてよろしいでしょうか。	市と受注者との協議の結果、市が要求水準書の変更が必要と判断した場合には、市は書面にて要求水準書の変更内容を提示します。
3	8	22			要求水準等の変更に伴う請負代金額の変更	「この場合において、発注者は、必要があると認められるときは工期若しくは請負代金額を変更し」とされていますが、「この場合において、発注者は受注者に工期若しくは請負代金額の変更を確認の上、契約書第27条に従って変更し」と修正いただくことは可能でしょうか。	第27条請負代金額の変更方法等については、第22条の要求水準書等の変更に伴う請負代金の変更を含むものであることから、ご質問の趣旨は原案にて実現されていると認識しており、原案の通りとします。
4	9	27			請負代金額の変更方法等	実施設計業務において、積算業務にもとづく工事費の提示が求められております。この工事費が入札時の工事費とかい離している可能性があるため、実施設計業務完了後、工事着手前に発注者と受注者が請負代金額の変更を協議するということで理解しておろしいでしょうか。	各単価は協議を行って合意の上、入札価格に合うように積算業務を行ってください。物価水準の変動による請負代金の変更は、第28条によるものとします。
5	10	28			賃金水準又は物価水準の変動	賃金水準又は物価水準の変動を確認するための指標や基準は、事業契約締結時に発注者と受注者で協議により定めると考えてよろしいでしょうか。	契約書第28条3項で、賃金水準又は物価水準の変動があった場合において、請求のあった日を基準とし、物価指標等を基準として協議するものとしています。よって、請求のあった日に存在している物価指標等から双方協議の上、基準となる指標を決定し、変更協議を行うこととなります。
6	10	28			賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更	習志野市様におかれましては、変動前残工事代金や変動後残工事代金及び物価指数等についてはどのように算定するのか具体的にご教授賜りたく。	市が定める「習志野市発注工事における「単品スライド条項」の運用について」、「建設工事請負契約約款第26条第6項(インフレスライド条項)の運用に関する手引き」をご覧ください。なお、これらの手引きは国等の規定等に従って変更する場合があります。
7	10	28	1 ～ 8		賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更	基本設計図に基く概算契約となるため、実施設計完了時に実施設計期間中の物価スライドについて第1項に基づき、協議頂けますでしょうか。また、工事着手後は第6項に基づき、随時協議頂けますでしょうか。	入札価格での総価契約であり、概算契約ではありません。賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更は、第28条に記載の通りです。

「資料5 習志野市新庁舎建設工事契約書(案)」に関する質疑回答

No	ページ	該当箇所			タイトル	質疑	回答
		条	項	号			
8	10	28	1 ～ 8		賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更	契約時に、物価スライドの指標・精算方法等について確認・協議を行わせて頂くことは可能でしょうか。	No.5、No.6の回答をご覧ください。
9	10	28	6		賃金又は物価の変動に基づく請負代額更	建設工事請負契約約款第26条第6項(インフレスライド条項)の習志野市の建設工事請負契約約款第26条第6項(インフレスライド条項)の運用に関する手引きが準用されるという理解で宜しいでしょうか。	No.6の回答をご覧ください。
10	10	28	6		賃金又は物価の変動に基づく請負代額更	習志野市のインフレスライドの手引きによれば”発注者は、積算に使用する単価を用いた変動率を物価指数とすることを基本”とありますが、本事案においては積算に用いた単価はあるのでしょうか。	本工事では、基本設計段階で積算に用いた単価はありません。実施設計にて内訳書を確定し、賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更については、確定した内訳書の単価を基本とします。内訳書の作成については、No.4の回答をご覧ください。
11	10	28	6		賃金又は物価の変動に基づく請負代額更	習志野市のインフレスライドの手引きによれば”受注者の協議資料等に基づき双方で合意した場合は別途の物価指数を用いることができる”とありますが、例えば、事業者の提案する構造様式に準じて、指数として建設物価調査会が提供している事務所SRC、RC、S、の指数を使うことは可能でしょうか。内訳が無い概算金額での契約では、その内訳の確認にも時間がかかることが予想され、指数を第三者の公表しているものを用いることにより、恣意性が排除できると考えられます。	習志野市のインフレスライドの手引きに記載のとおり、双方で合意した場合は、御質問の基準等を用いることは可能であると考えます。
12	10	28	6		賃金又は物価の変動に基づく請負代額更	契約時には内訳及び数量は確定しておらず、内訳の数量については、実施設計完了後に確定するという理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。No.4をご覧ください。
13	11	31			第三者の及ぼした損害	第三者に及ぼした損害とは、様々なケースが想定されますが、対応の詳細については都度発注者と受注者にて協議の上、決定するものとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解の通りです。
14	12	34	4		実施設計図書等の検査	本項はどのような責任を負担しないのか具体的にご教示下さい。	本工事は、実施設計と施工を合わせて発注します。完了引渡し(部分引渡し含む)については、当該実施設計図書と当該建物の完成をもって同時引渡しとなることから、実施設計図書の工期中の確認検査は行いますが、完了引渡し時に判明した要求水準未達などについての責任を市は負わないとご理解ください。